

第 1 回大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会

日時 令和 2 年 5 月 29 日 (金) 午後 1 時 30 分
～午後 3 時 30 分

場所 リアスホール 1 階 マルチスペース

次 第

1 開 会

2 委嘱状交付

3 あいさつ

4 委員長及び副委員長の選任

5 協 議

(1) 大船渡市スポーツ施設整備基本計画の策定について【資料 1 ～ 5】

6 そ の 他

7 閉 会

※会議終了後

施設視察（市民体育館、市民テニスコート、田中島グラウンド）【資料 6】

大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会 委員名簿

任期：令和２年５月２９日から所掌する事務が完了する日まで

(五十音順)

氏 名	所 属 等	備 考
浅 沼 道 成	国立大学法人岩手大学人文社会科学部 教授	
上 村 弥	一般財団法人大船渡市体育協会 事務局長	
上 関 み さ	大船渡市健康づくり推進員	
熊 谷 侑 希	NPO 法人さんりく WELLNESS 代表	
古 座 勝 利	一般社団法人岩手県建築士事務所協会 気仙支部 事務局	
金 野 敏 夫	社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会 事務局長	
佐 佐 木 浩 美	大船渡市男女共同参画審議会 会長	
志 田 秀 香	大船渡市社会教育委員	
鈴 木 弘	一般社団法人大船渡市観光物産協会 事務局長	
高 橋 大 樹	一般公募	
谷 山 誠 志	大船渡市スポーツ少年団本部 本部長	
新 沼 邦 夫	大船渡商工会議所 専務理事	
新 沼 良 治	立根地区公民館 館長	
三 宅 肇	一般公募	
山 口 康 玄	一般社団法人大船渡青年会議所 理事長	

4 委員長及び副委員長の選任について

役職名	氏 名
委 員 長	
副 委 員 長	

大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会設置要綱（抄）

（委員長及び副委員長）

第5 検討委員会に委員長及び副委員長を各1人置き、委員の互選とする。

2 委員長は、検討委員会の会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

5 協議

(1) 大船渡市スポーツ施設整備基本計画の策定について

1 計画策定の趣旨

大船渡市スポーツ施設整備基本計画（以下「基本計画」という。）は、これからのスポーツ施設のあり方や整備の必要性等について考え方を整理し、将来を見据えた効果的、効率的な施設マネジメントの推進を目的に策定するものである。

【これまでの経過】

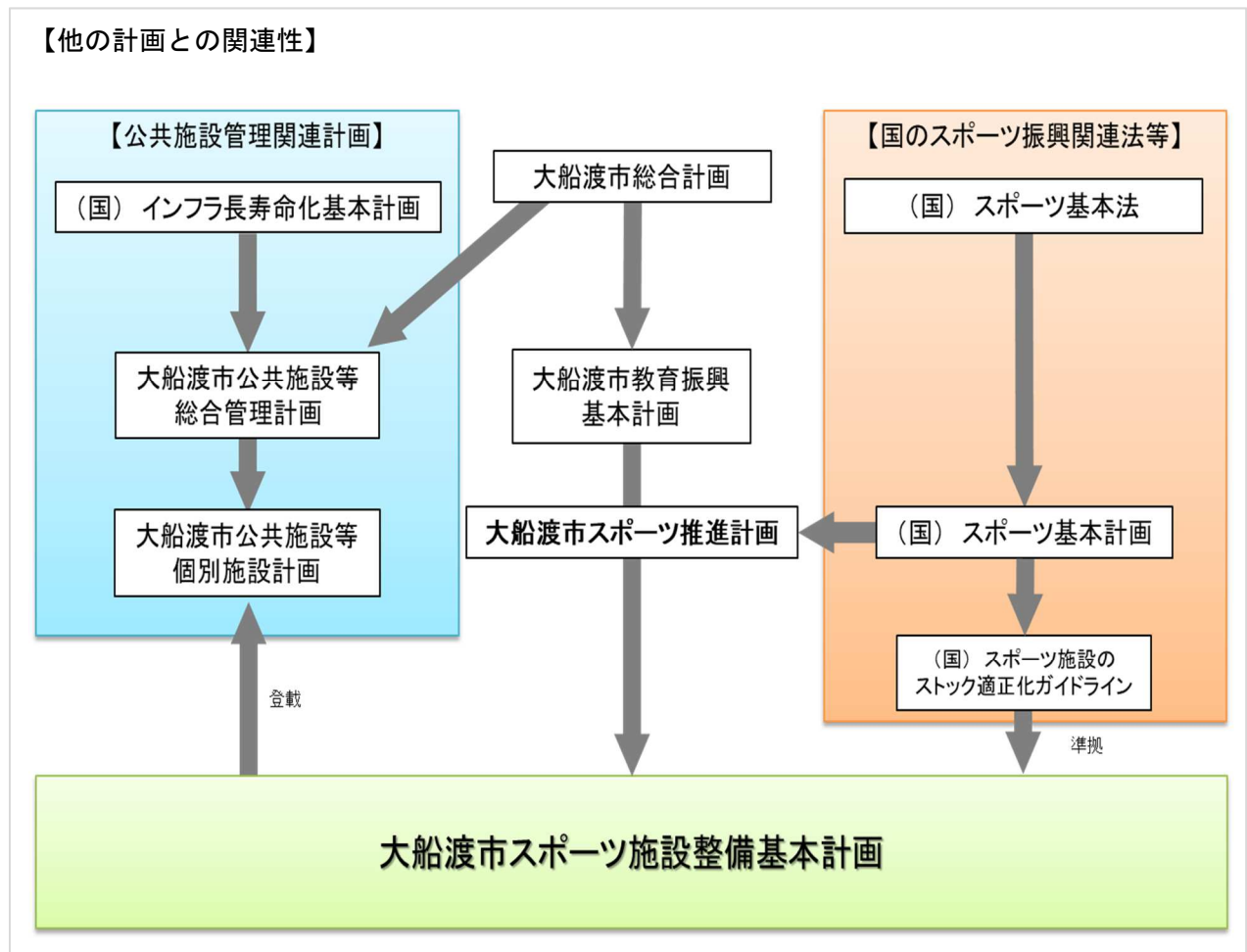
時 期	通知名等	内 容
平成 25 年 11 月		国のインフラ長寿命化基本計画策定
平成 26 年 4 月	公共施設の総合的かつ計画的な管理の推進について（総務省通知）	インフラ長寿命化計画の行動計画に相当するものとして、「公共施設等総合管理計画」策定の要請
平成 27 年 3 月 31 日	インフラ長寿命化計画（行動計画）の策定について（文部科学省通知）	<u>インフラ長寿命化計画の行動計画・個別施設計画を 2020 年度末までに策定するよう要請</u>
平成 29 年 3 月		大船渡市公共施設等総合管理計画策定（「インフラ長寿命化基本計画」の「行動計画」に相当するもの）
平成 30 年 1 月 10 日	個別施設計画の策定について（文部科学省通知）	できるだけ早い時期の策定を要請
平成 30 年 3 月		スポーツ施設のストック適正化ガイドライン策定（スポーツ庁）
平成 31 年 1 月 8 日	個別施設計画の策定について（文部科学省通知）	策定について、早急に検討に着手するよう要請
令和 2 年 2 月		大船渡市スポーツ推進計画策定
令和 2 年 3 月		大船渡市公共施設等個別施設計画策定
令和 2 年 3 月 27 日		大船渡市スポーツ施設整備に係る検討結果報告書提出
令和 2 年 12 月		大船渡市スポーツ施設整備基本計画策定予定

上記のとおり、平成 29 年 3 月に「インフラ長寿命化基本計画」の「行動計画」に相当するものとして、「大船渡市公共施設等総合管理計画」を策定し、また、令和元年度には個別施設ごとの具体的な対応方針を定める大船渡市公共施設等個別施設計画を策定した。基本計画は、大船渡市スポーツ推進計画（以下「推進計画」という。）における「個別施設計画」に相当するものとして、スポーツ施設のストック適正化ガイドラインに沿って策定するものである。

2 計画の位置づけ

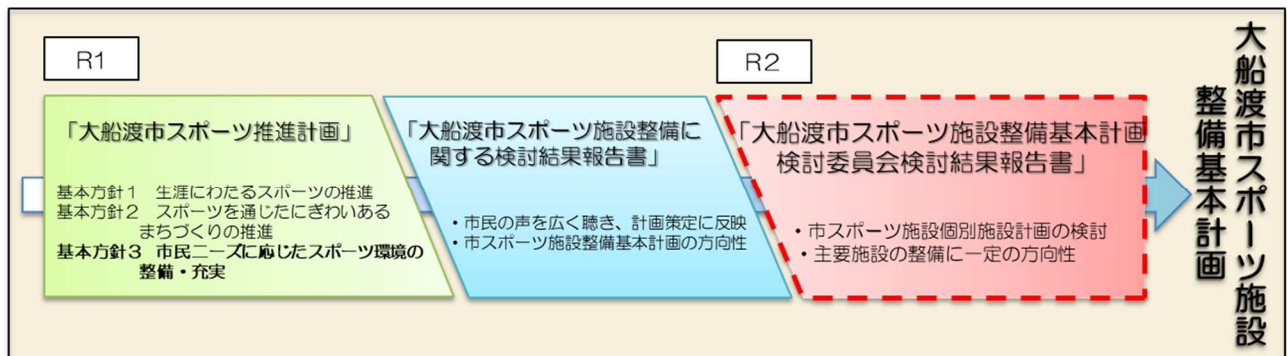
令和元年度に策定された推進計画では3つの基本方針を定めており、策定を目指す基本計画は基本方針3の「市民ニーズに応じたスポーツ環境の整備・充実」に基づき策定する、スポーツ施設に関する個別計画にあたるものである。

また、大船渡市公共施設等総合管理計画に基づいて策定した大船渡市公共施設等個別施設計画への反映を考慮する計画である。

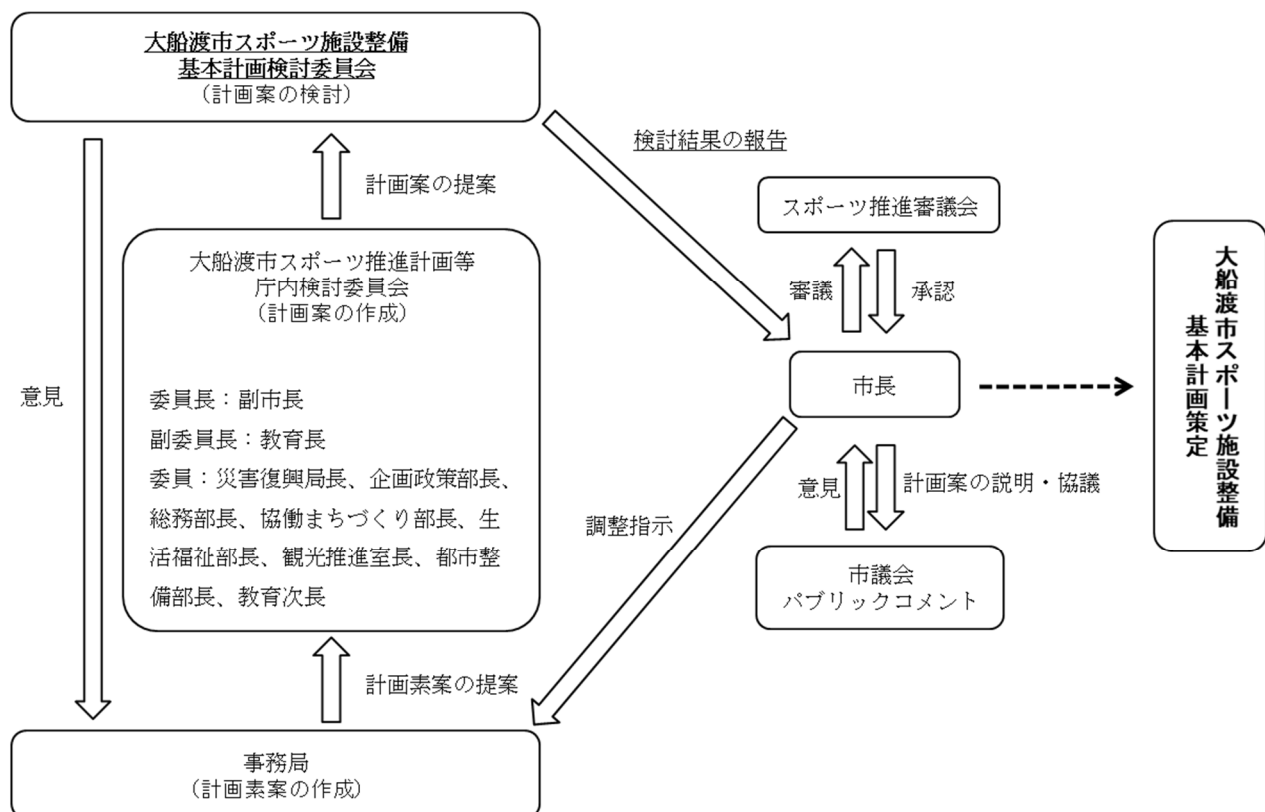


3 計画策定の流れ

推進計画の基本方針はもとより、令和元年度に大船渡市スポーツ施設整備検討委員会が取りまとめた「大船渡市スポーツ施設整備に係る検討結果報告書」等を踏まえつつ、基本計画の策定を目指すものである。



【策定体制イメージ図】



4 基本計画の構成

大船渡市スポーツ施設整備基本計画（以下「基本計画」という。）の構成は、概ね次のとおりとする。

(1) 計画策定の趣旨、期間及び進捗管理

基本計画策定の趣旨については、策定に至る背景や社会情勢の変化、当市のこれまでの動向等を整理し、計画策定に関する基本的な考え方を示す。計画期間は令和 10 年度までとし、必要に応じて計画の見直しを行うこととする。

(2) 施設の現状と課題

市内スポーツ施設の基本情報を収集するとともに、施設が抱える課題を整理し、基本計画の方向性や性質を明確にする。

(3) 施設の現況評価（1 次評価）

「安全性・機能性」「経済性」「耐震性」について評価し、評価結果を基に個々のスポーツ施設の方向性及び整備手法を簡易的に検討する。

(4) 施設の環境評価（2 次評価）

施設の現況評価（1 次評価）に加え、スポーツ施設の提供・利用等の視点から評価し、また、1 次評価の結果が芳しくない施設については政策優先度も考慮した上で評価し、個別施設の整備等に係る基本方針を定める。

(5) 個別施設計画

1 次評価及び 2 次評価の結果と本検討委員会等での協議内容を踏まえて、今後の施設の整備等に関する行動計画を作成し、個別施設計画として取りまとめる。

(6) 主要施設の詳細検討

平成 29 年度から継続的に整備検討が進められ、基本計画の計画期間内に耐用年限を迎える市営球場と、市民ニーズが高く、昨年度の大船渡市スポーツ施設整備検討委員会でも委員から早期の建替えを求める声が多数あげられた市民体育館について、個別に検討を深める。

5 想定スケジュール

